

2021年3月19日

「岩手の飲食業界を守る会」を応援します。

2021年1月、岩手県において、新型コロナウイルス感染症拡大による売上げ減少に苦しむ飲食業に携わる有志が発起人となり、「岩手の飲食業界を守る会」（以下「守る会」といいます。）が立ち上がりました。

このたび、弊社ならびに盛岡市内のデザイナー・クリエイター有志による勝手連「盛岡中心市街地見守り隊」は、守る会の活動支援、ならびに飲食店を利用させてもらう側（以下「利用者」といいます。）のエチケットおよびマナーに関する意識向上を促すことを目的とした啓蒙ツール「かんぱいエチケット」を作成し、守る会の参加事業者・賛同者のみなさまを中心に配布することといたしました。

利用者として私たちにできることは、たくさんあると思います。例えば、鼻屑（ひいき）のお店の感染防止策のお手伝いをする、使用後の化粧室をキレイにする、手指消毒のキットを利用者全員が持参する、幹事さんが開始30分前に消毒作業を手伝う、お店の従業員に代わって15分おきに換気とマスク着用を促す…。岩手ならではの優しさと厳しさ、硬直性と柔軟性。凍結防止のためにきつく閉めた蛇口の栓を開ける、厚手のコートを少しずつ薄手に変えていく、「季節」ではなく「気温」で衣服を調整する。日々、閉じたり開けたり、そんな岩手ならではの感覚が活かされるときではないでしょうか。

自らを守る意識と同じように、利用者もお店の従業員を守る意識を持つ。お店の人、次の利用者、お店に関係する多くの事業者（小売業者、卸売業者、流通加工業者、生産者など）と従業員を思いやる。観光客や修学旅行生、国内外の岩手のファン、遠方の大切な人たちを安心して迎え入れることができるその日が訪れるまで、みなさんで飲食業界を応援しませんか。

人に会う、食事をする、会話をする、着飾って街に出る…人通りが途絶えた街の雰囲気を変えるきっかけになってほしいと願っています。

【本件に関する問い合わせ先：manordaいわて株式会社 代表取締役 菊地 文彦】

